福井市
「ふくい市民活動基金」
助成事業

こどもたちが主役の

防災チャレンジキャンプ

活動テーマ

子どもたち“が”考える　子どもたち“と”考える

福井市美山地区上味見（かみあじみ）地域にて
2004年より活動を行っています。
子どもたちをはじめ、くらしを共にする仲間一人ひとりが
【共に学び　共に成長する】ことを理念に活動を始めて
14年目を迎えております。
地域に根差したNPOとしての団体の新たなチャレンジとして、今回【防災】をテーマにした
活動を開催することとなりました。
子どもたちの小さな一歩、体験として
ご参加お待ちしております。

防災チャレンジキャンプ　3つのねらい

【防災】 というテーマを通して くらしの価値を 考える時間をつくる	何気なく過ごす生活と異なる環境でのキャンプを「災害時のくらし」をイメージしながら展開していくことで、違いを感じながら、日常のくらしにある価値をさがし、考える機会をつくります。
チャレンジできる環境を通じて、自分から意欲的に行動し、考える力を養う【自助】	活動を通して、子どもたちの意見や思いを尊重できる雰囲気づくりを目指します。決められた活動をこなすのではなく、子どもたち自身が考え、行動に移す経験からの学び場をつくります
参加者自身の力で“くらし”をつくる時間を通じて、人、自然とのつながりを感じる【共助】	子どもたちが主役のキャンプです。 一人ではなく、仲間との協働、自然とのつながりを感じながら共に暮らしを支え、学び合う時間をつくります。

活動のポイント

活動では下記4つのキーワードをポイントにプログラムを構成します。
しかし、活動中は**子どもたちの意見や、やりたいことを取り入れます**。
子どもたちが主役となるための暮らしづくりを実現するために、
任せることができる場面をつくり
一人ひとりが主体性をもってチャレンジすることを目指します！

～食～

キャンプ中の食事作りは自分たちでつくることが基本です
薪からの火おこし、包丁を使った調理、非常食の体験など
楽しみながらチャレンジします！

～学ぶ～

“防災”ってなに？
もしも地震や洪水などで災害にあったらどうなるの？
わたしたちは何ができるの？など
キャンプでの学びも取り入れながら、防災について考えます

～くらし～

テント泊に避難所泊（体育館）など、何を準備して
どこで泊まるかはみんなと決めます！
ワクワクドキドキすることまちがいなし！？

活動当日に選択可能な手段・内容を紹介し
希望する方法で再度グーム分けを行う予定です。
※内容は当日の天候および参加者の希望状況などから
判断したうえで、最終決定となります。

～自然～

あそび場、モノづくりの材料さがしなどなど…
くらしやあそびでつながりながら、自然の不思議や面白さ
を一緒にさがそう！

活動場所は平成28年2月に【ふくいふるさと学びの森】の認定を受けています。
（福井県里山里海湖研究所　認定）

主なQ&A

※その他のご質問は自然体験共学センターまでお問合せください

1： 活動時期が11月下旬であり、寒さが予想されると思うのですが 対策や配慮はありますか？	A1 災害時において、寒さを体験すること、あるいはそれに向けた備えをすることは学びの価値がある、と考えております。主催者にて毛布の備蓄があるため提供するほか。参加者にも事前に情報を出し、各自で考えて備えることをすすめながら、準備段階から活動をサポートします。
2： 入浴の 時間はありますか？	A2： 災害時の生活をイメージさせる関わりのひとつとして 入浴の時間は設定しません。ご了承ください。 アトピー等、体質などの事情がある場合はご相談ください。
3： 初めて親元を離れて ／一人で参加の 活動になりますが 大丈夫ですか？	A3： お子様本人が「頑張りたい！」「チャレンジしたい！」 ということであれば大丈夫です。お子様の気持ちを尊重し 送り出していただければ幸いです。 仲間づくりなど、活動中のサポートに努めます。
4： 活動ではグループはありますか？ 事前に決まるグループはありますか？	A4 【食事】【作戦会議】を目的とした異年齢縦割りのグループを主催者側で事前に設定します。 それ以外のグループについては、子どもたちの意見を取り入れながら作っていきます。
5： 友だち、兄弟姉妹で 同じグループを希望します。	A5： 主催者で事前に作るグループ、およびその活動については 新しい仲間と関わるチャレンジの機会のひとつと考えているため、意図的に友人、兄弟姉妹を分けて設定します。 予めご了承ください。 それ以外のグループについては、一定のルールを設ける場合はありますが（宿泊場所の男女別　など） 基本的には子どもたちの意見を優先するなど 配慮に努めます。
6： スタッフ体制は？	A6 本部責任スタッフが防災士の資格を保有するほか、自然体験活動に関連する技能、応急処置に関する技能の習得、研修をしております。それ以外のスタッフについても、 事前研修を経た者を採用し、実りある活動に向けた準備を 進めて参ります。
7： 食物アレルギーへの対策はありますか	A7 対象のアレルゲンを除去するなど、対応可能です。 内容については別途ご相談となります。 一部食材などは対応が限られる可能性があります （非常食など）
8： 申込後の手続き等	A8： 【申込確認後】 受付結果通知を送付いたします。（10日以内） 【活動10日前以降】 最終お知らせ（持ち物表、事務連絡通知など） をお送りいたします。 【活動終了後】 お土産資料（活動報告資料など）をお送りいたします。

～キャンプのおきて～

子どもが主役のくらしをつくるために ②

キャンプ活動中、みんなに守ってほしい8つの約束です。
活動のなかで、参加者全員でおきての話を行い、楽しいキャンプをつくるために、一緒に過ごす仲間たちとこの約束を守ることを大切にしています。

その1　君たち子ども　が主役だ
その2　食事は自分たち　で作る
その3　チャレンジが　基本だ
その4　みんなで仕事　楽しい生活
その5　あいさつをする
その6　仲間はずれは　許さない
その7　健康で、安全に　くらす
その8　山や川は大事な　友だちだ

活動スケジュール（予定）※時間は目安です

1日目
10:30　集合
はじまりの会
交流ゲーム
昼食
13:00森の子会議
（ルールづくり）
ねどこ準備
※場所は当日決定
（テント泊、体育館泊など）
自由時間
16:00　野外炊飯
ナイトプログラム
ふりかえり
作戦会議
（2日目午前プログラム内容など）
21:00　就寝

2日目
6:00　起床、洗面
朝食（非常食体験）
そうじ、片付け
9:30　自由プログラム
※当日参加する
子どもたちの意見を参考にして
プログラムをつくります
12:00　昼食
13:00　ふりかえり
15:00　終わりの会
解散

問合せ先　**ちょっと“チャレンジ”を応援します！**
NPO法人自然体験共学センター
TEL　0776-93-2013（平日10時～18時）FAX　0776-93-2012
Mail　mail@kyougaku.com